

令和4年度 食品ロス実態調査報告書

1 家庭から発生する食品ロス発生量 5,553トﾝ

(直接廃棄2,888トﾝ、食べ残し2,665トﾝ)

1日当たり	一人当たり	一人1日当たり
15.2トﾝ	18.60kg	51.0g

2 家庭ごみに占める食品ロスの割合

令和4年度の家庭ごみ(54,722トﾝ)のうち、10.1%が食品ロスである。

※家庭ごみのうち食品廃棄物(生ごみ)の割合は、34.05%である。

【コメント】

令和4年度は、食品廃棄物(生ごみ)の割合が前年(45.74%)を大きく下回っています。これは、8月に調査を実施すべきところ、新型コロナウイルス感染症拡大により、9月に調査せざるをえなかったことが影響したものと推測されます。

3 食品ロス実態調査の結果概要

本市の食品廃棄物(生ごみ)のうち、「食品ロス」である直接廃棄および食べ残しは、29.8%となっている。(5月調査25.8%、9月調査30.1%、11月調査27.8%、2月35.3%)

4 手付かず食品の状況

(1) 手付かず食品をカウントしてみると、年4回の調査で532件カウントされています。(5月162点、9月135点、11月142点、2月93点)

(2) 調査では、10分類(やさい、お菓子類、果物類、麺類、豆類、調味料、パン類、肉類、魚類、その他)で分類しています。

多い順では、「やさい」(131件・24.6%)、「お菓子類」(98件・18.4%)、「調味料」(64件・12.0%)となっています。(その他、102件・19.2%)



R4.5調査全体写真



R4.9調査全体写真



R4.11調査全体写真

参照 令和4年度家庭ごみ組成調査報告書(秋田市環境部、令和5年3月)

秋田市食品ロス実態調査報告書(R4.7.1版、R4.11.25版、R5.2.15版、R5.3.24版)